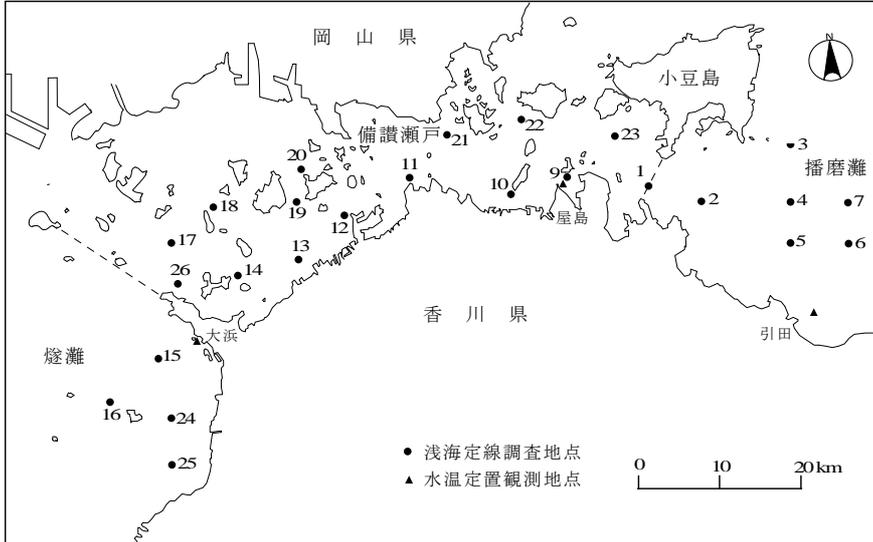


香川県漁海況情報 平成 29 年 3 月 (H28-12 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 29 年 3 月 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 3 月 2 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「やや高め」、塩分は「かなり低め」から「やや低め」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「やや低め」から「平年並み」であった。

3月

| | | 水 温 (°C) | | | 塩 分 (PSU) | | | 透 明 度 (m) | 溶 存 酸 素 (ml/l) | |
|---------|---------|----------|------|------|-----------|------|-------|-----------|----------------|-------|
| | | 表層 | 10m層 | 底層 | 表層 | 10m層 | 底層 | | 表層 | 底層 |
| 播 磨 灘 | 7地点平均値 | 9.5 | 9.3 | 9.3 | 32.1 | 32.1 | 32.1 | 9.2 | 6.25 | 6.18 |
| | 平年値 | 8.9 | 8.8 | 8.8 | 32.8 | 32.8 | 32.9 | 9.3 | 6.57 | 6.44 |
| | 平年偏差 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | -0.7 | -0.7 | -0.8 | -0.1 | -0.32 | -0.26 |
| | 標準偏差(σ) | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 2.9 | 0.37 | 0.34 |
| | 状 況 | やや高め | やや高め | やや高め | やや低め | やや低め | かなり低め | 平年並み | やや低め | やや低め |
| 備 讃 瀬 戸 | 14地点平均値 | 9.6 | 9.6 | 9.6 | 32.3 | 32.3 | 32.4 | 5.5 | 6.39 | 6.38 |
| | 平年値 | 9.1 | 9.1 | 9.1 | 33.0 | 33.0 | 33.0 | 6.0 | 6.41 | 6.42 |
| | 平年偏差 | 0.5 | 0.6 | 0.6 | -0.7 | -0.7 | -0.7 | -0.5 | -0.02 | -0.04 |
| | 標準偏差(σ) | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 1.8 | 0.34 | 0.36 |
| | 状 況 | 平年並み | 平年並み | やや高め | やや低め | やや低め | やや低め | 平年並み | 平年並み | 平年並み |
| 燧 灘 | 4地点平均値 | 10.5 | 10.5 | 10.6 | 32.7 | 32.8 | 32.7 | 9.1 | 6.63 | 6.45 |
| | 平年値 | 9.7 | 9.5 | 9.5 | 33.1 | 33.3 | 33.3 | 8.4 | 6.56 | 6.31 |
| | 平年偏差 | 0.8 | 1.0 | 1.1 | -0.5 | -0.5 | -0.6 | 0.7 | 0.07 | 0.14 |
| | 標準偏差(σ) | 1.0 | 0.9 | 0.9 | 0.5 | 0.4 | 0.4 | 2.7 | 0.41 | 0.44 |
| | 状 況 | やや高め | やや高め | やや高め | やや低め | やや低め | かなり低め | 平年並み | 平年並み | 平年並み |

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

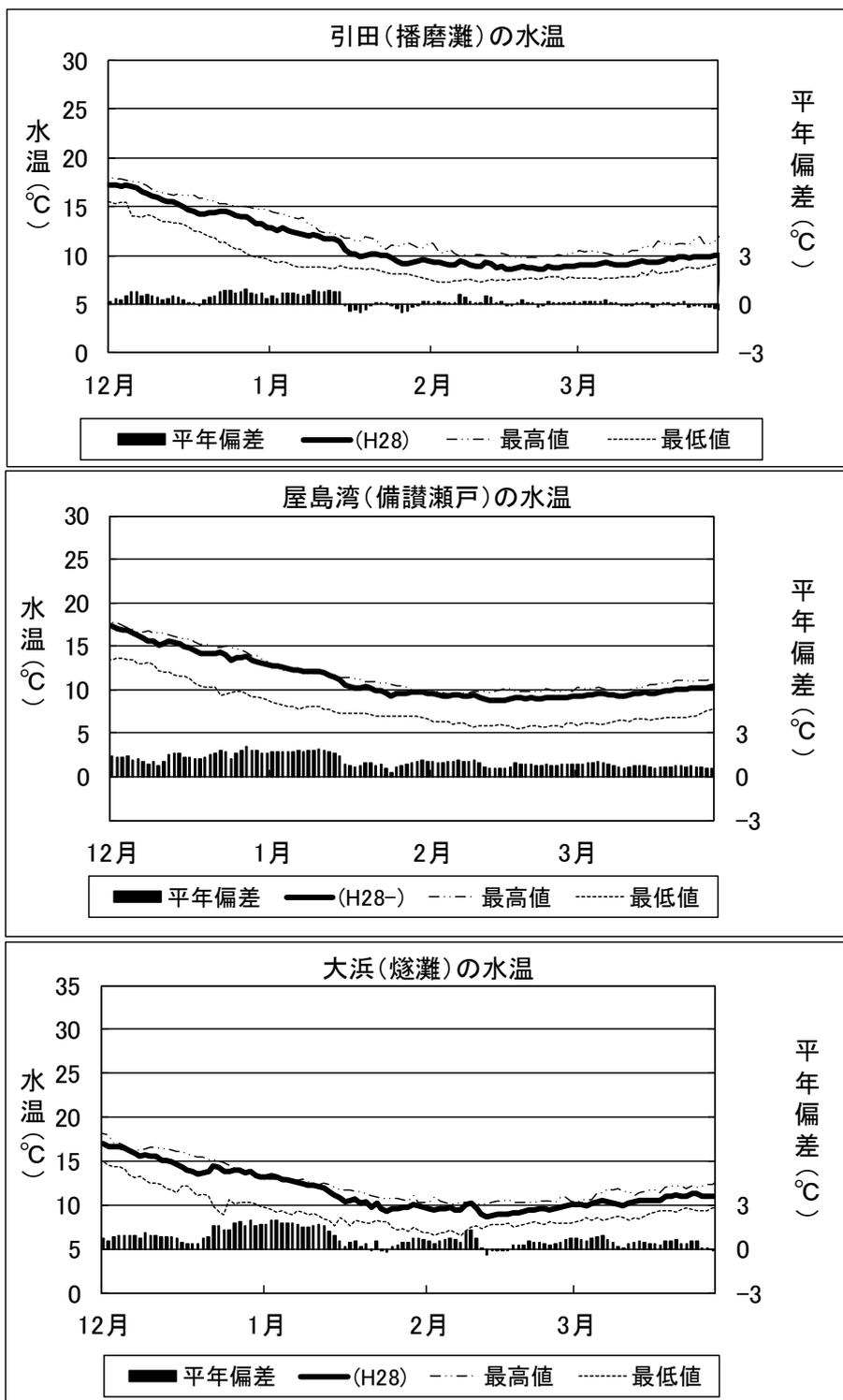
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 12~2 月は平年並みからやや高め、3 月は平年並みで推移している。(11 月下旬に 1 日、過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 12~2 月はやや高めからかなり高め、3 月は概ねやや高めで推移している。(1 月に 10 日、過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 12 月は平年並みからかなり高め、1 月は著しく高めから平年並み、2、3 月は平年並みからやや高めで推移している。(12 月に 1 日、1 月に 3 日、過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 27 (2015) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 27 (2015) 年



4) 赤潮 (3月1日～3月29日)

播磨灘：発生なし
 備讃瀬戸：発生なし
 燧灘：発生なし

5) 卵稚仔

調査日：平成29年3月1日 (備讃瀬戸, 燧灘), 3月2日 (播磨灘)
 出現量

| | | カタクチイワシ | | マイワシ | | イカナゴ | その他の魚類 | |
|------|--------|---------|------|------|------|------|--------|------|
| | | 卵 | 稚仔 | 卵 | 稚仔 | 稚仔 | 卵 | 稚仔 |
| 播磨灘 | 平均値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.25 |
| | 対平年(%) | - | - | - | - | 0.00 | | |
| | 平年値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.04 | | |
| 備讃瀬戸 | 平均値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 |
| | 対平年(%) | - | - | - | 0.00 | 0.00 | | |
| | 平年値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.04 | | |
| 燧灘 | 平均値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | 対平年(%) | - | - | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | |
| | 平年値 | 0.00 | 0.00 | 0.06 | 0.02 | 0.07 | | |
| 総平均 | 平均値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.10 |
| | 対平年(%) | - | - | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | |
| | 平年値 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.04 | | |

- : 平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

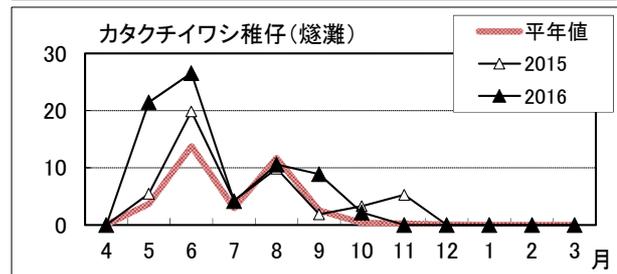
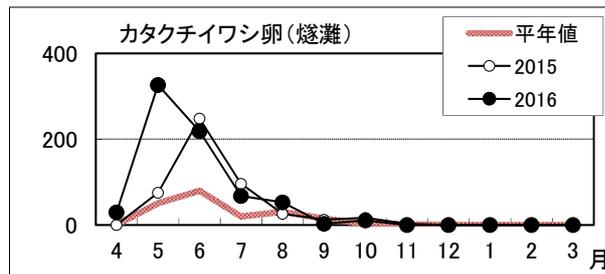
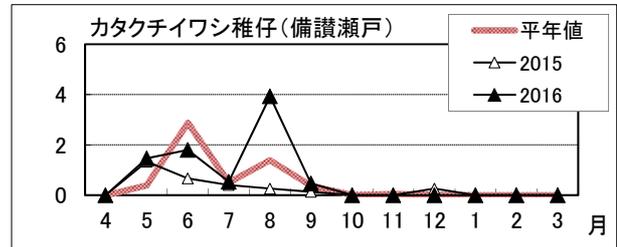
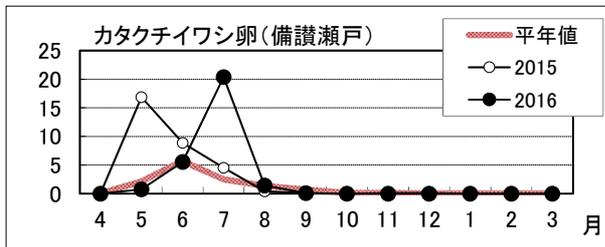
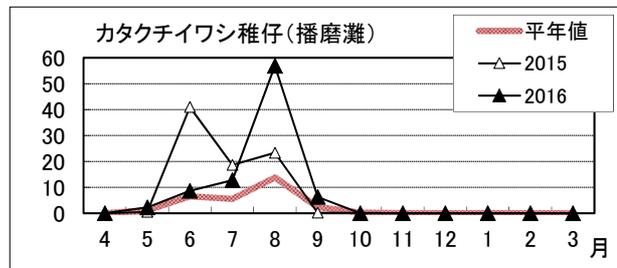
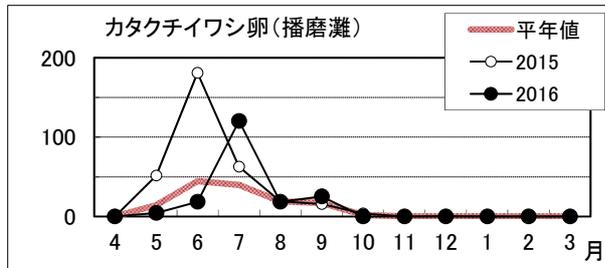
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成27(2015)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成27(2015)年度

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。

*イカナゴの卵は、沈性弱粘着卵のため、プランクトンネットではほとんど採集されません。



2. 漁況

1) 2月からの漁況は次のとおりである。

| 海 域 | 漁 況 |
|---------|---|
| 播 磨 灘 | <p>底びき網では、マコガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、タマガンゾウビラメ、イヌノシタ、オニオコゼ、カサゴ、コイチ、マゴチ、コウイカ、アカガイ、トリガイ、タイラギ、小エビ類、クルマエビ、ヨシエビ、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>柵網では、マアジ、コノシロ、クロダイ、キチヌ、スズキ、ボラ、サツキマス、メバル、アイナメ、コブダイ、ヒラメ、コウイカなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、メバル、カサゴ、クジメ、キジハタ、スズキ、マダイ、クロダイ、メジナ、マダコ、サザエなどが漁獲されている。</p> |
| 備 讃 瀬 戸 | <p>底びき網では、マコガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、コウライアカシタビラメ、イヌノシタ、セトウシノシタ、マダイ、クロダイ、カサゴ、オニオコゼ、マアナゴ、シロギス、スズキ、アイナメ、ナシフグ、ウマヅラハギ、ウミタナゴ、ネズッコ類、クラカケトラギス、マトウトラギス、セトダイ、コイチ、アカエイ、マダコ、イイダコ、コウイカ、ペイカ、ミミイカ、アカニシ、ツメタガイ、タイラギ、ミルクイ、アカガイ、小エビ類、クルマエビ、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、マコガレイ、メイタガレイ、メバル、アイナメ、ガザミなどが漁獲されている。</p> |
| 燧 灘 | <p>底びき網では、マコガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、タマガンゾウビラメ、イヌノシタ、クロダイ、スズキ、オニオコゼ、アイナメ、マナガツオ、カワハギ、マアナゴ、コモンフグ、ナシフグ、シロギス、ネズッコ類、アカハゼ、テンジクダイ、マゴチ、ボラ、コイチ、アカエイ、マダコ、コウイカ、シリヤケイカ、ミミイカ、アカガイ、トリガイ、アカニシ、ツメタガイ、タイラギ、小エビ類、クルマエビ、ヨシエビ、ガザミ、タイワンガザミ、シャコ、マナマコなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、マコガレイ、クロダイ、マゴチなどが漁獲されている。</p> |

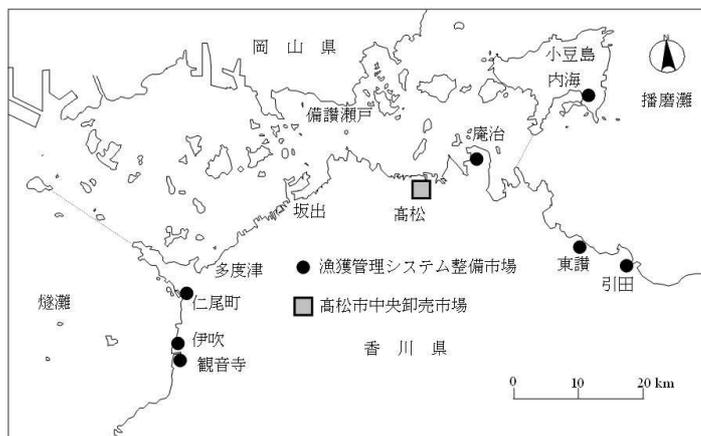
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

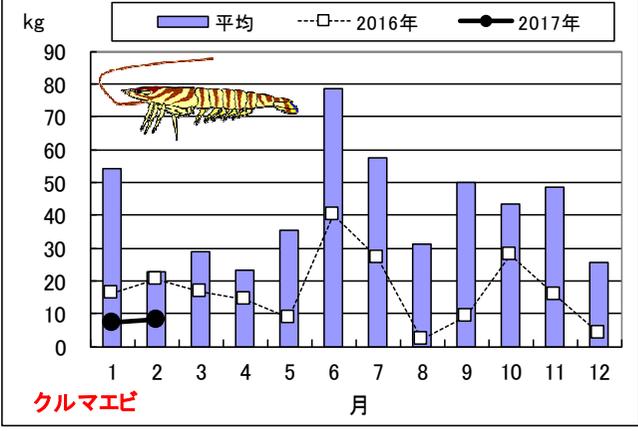
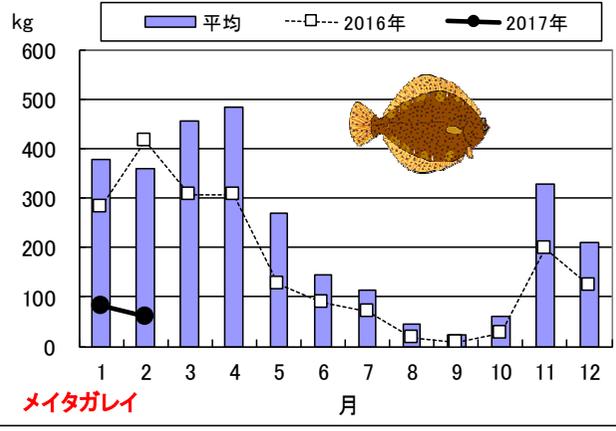
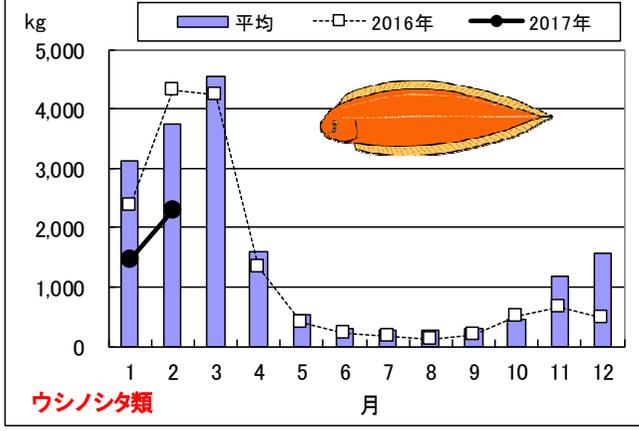
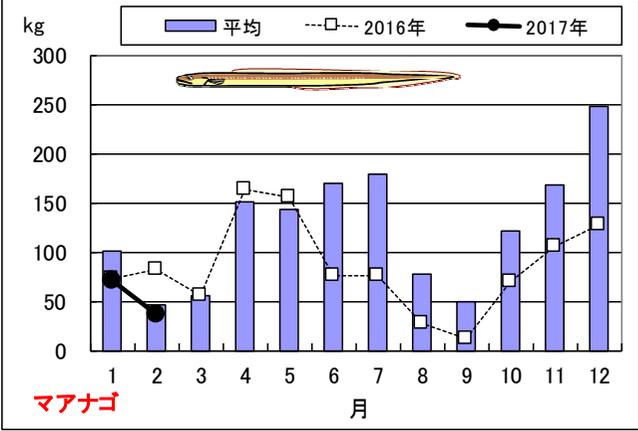
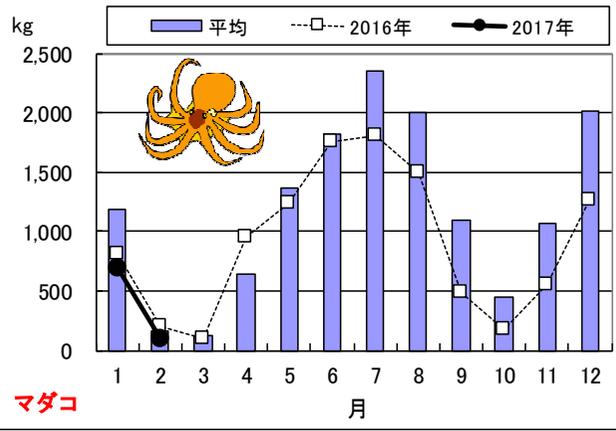
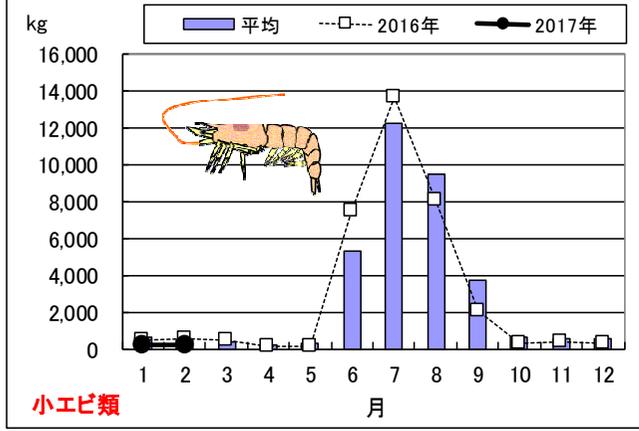
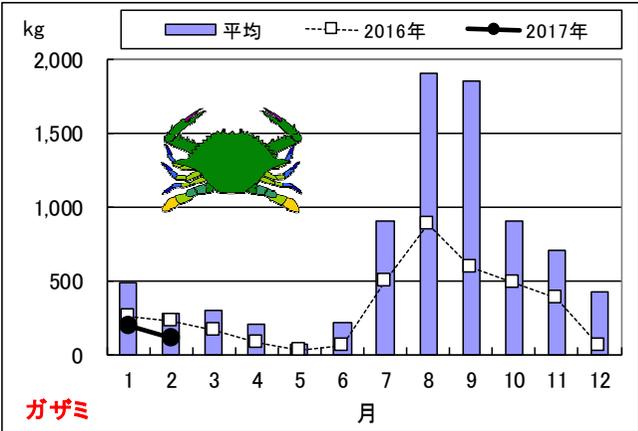
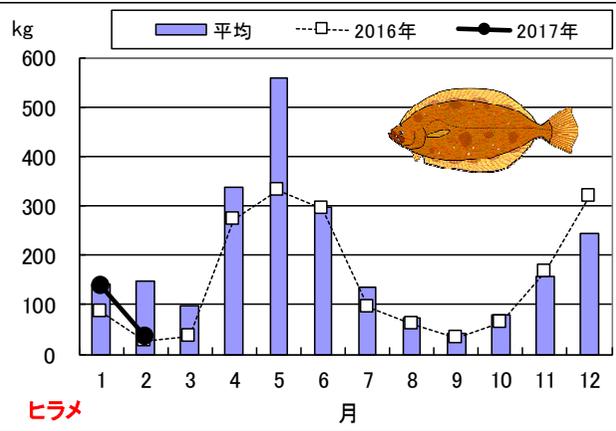
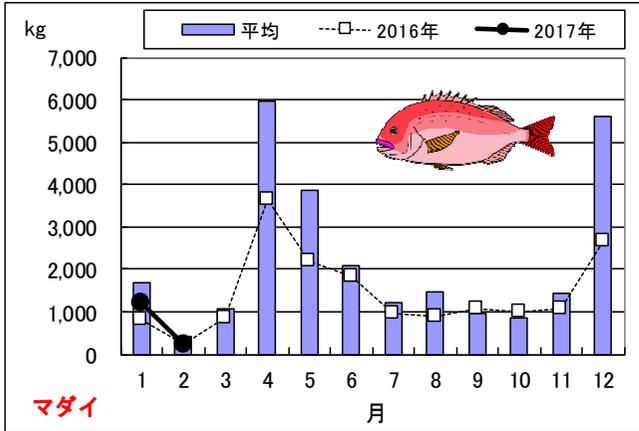
(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。



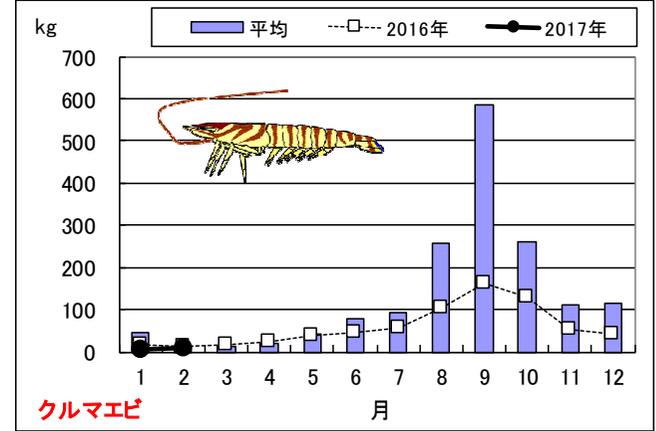
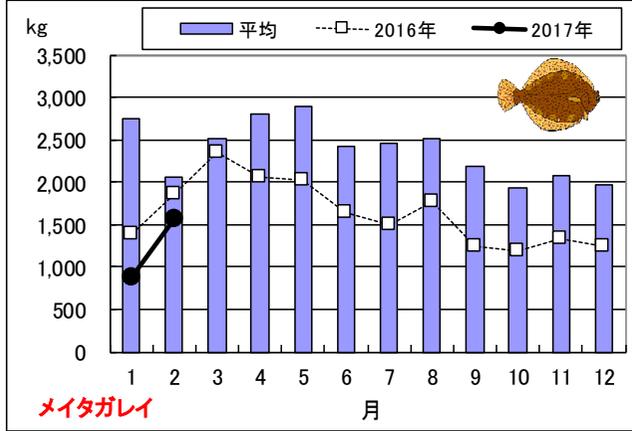
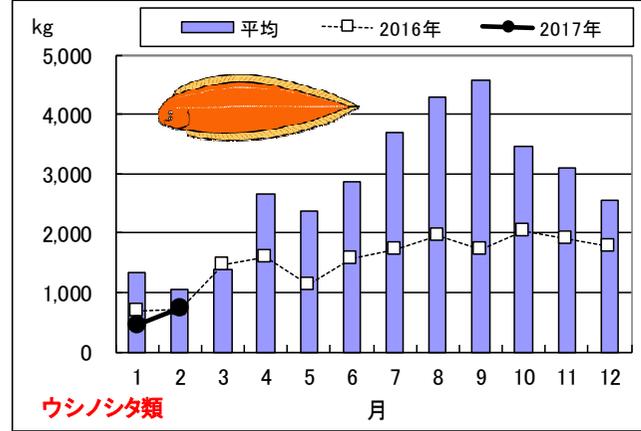
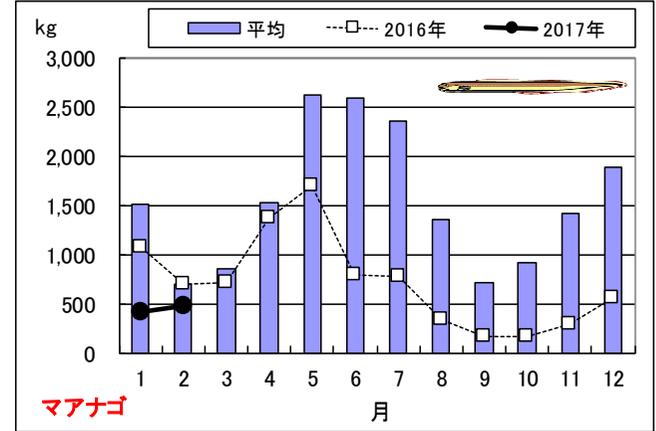
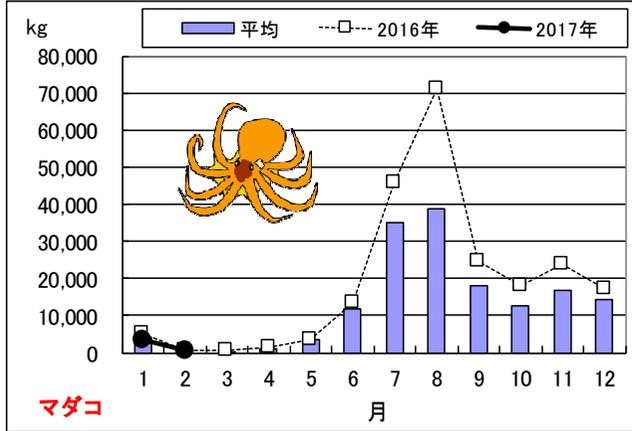
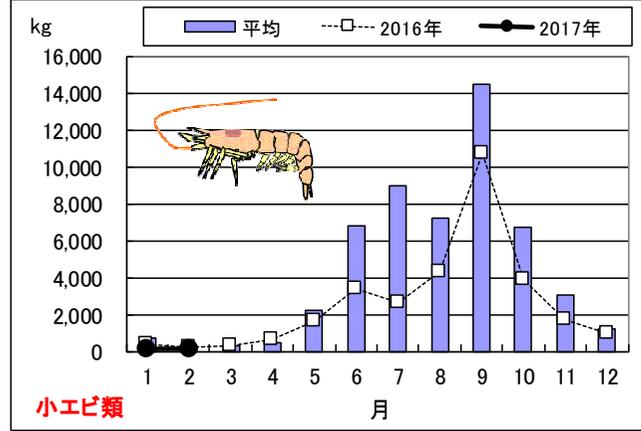
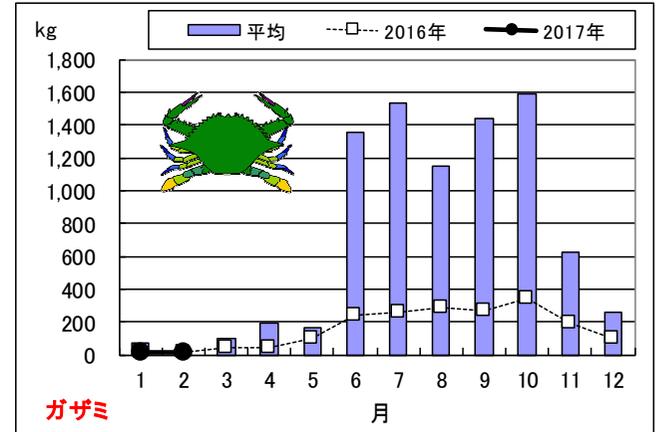
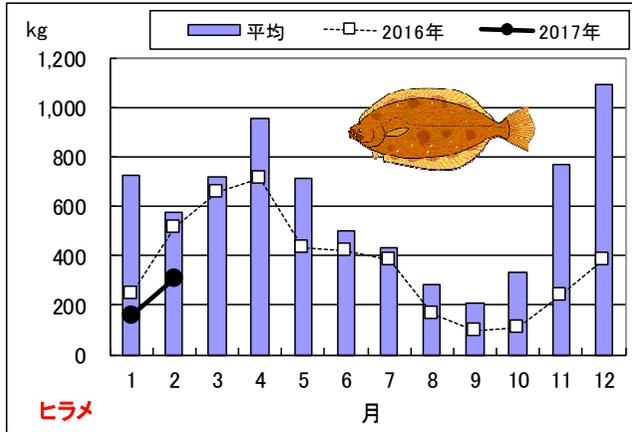
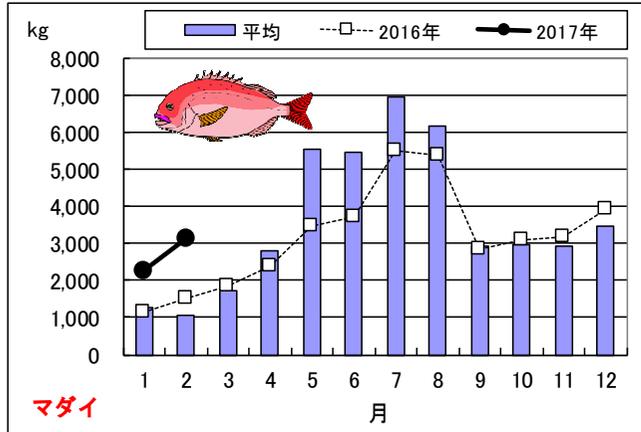
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2012年から2016年の5年間の平均。



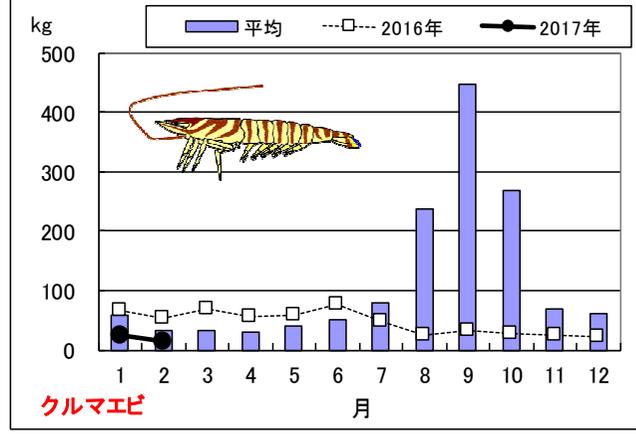
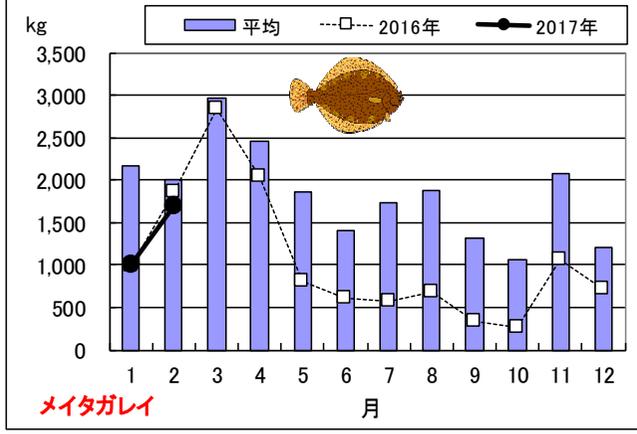
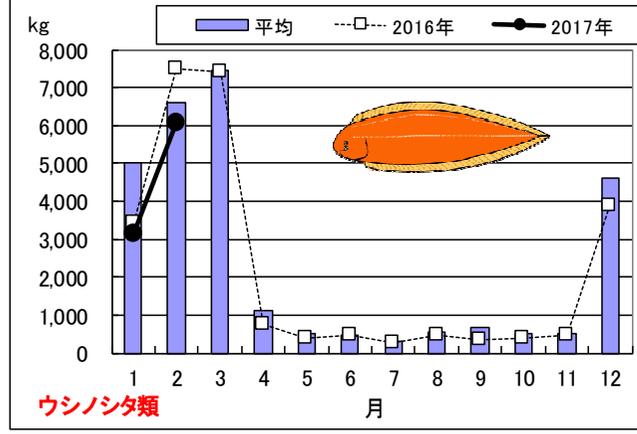
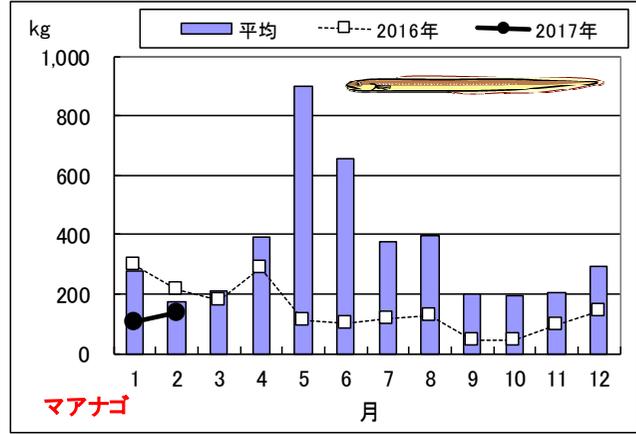
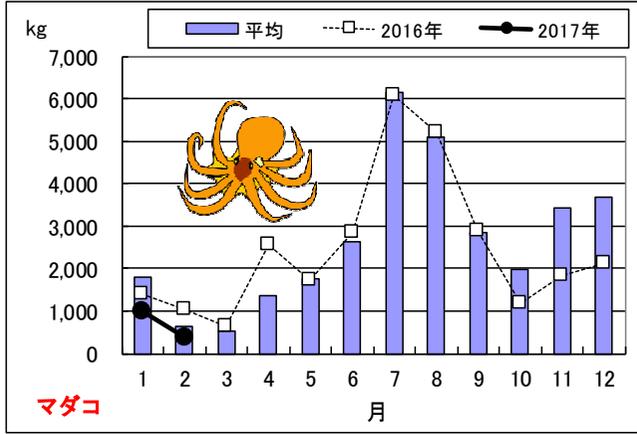
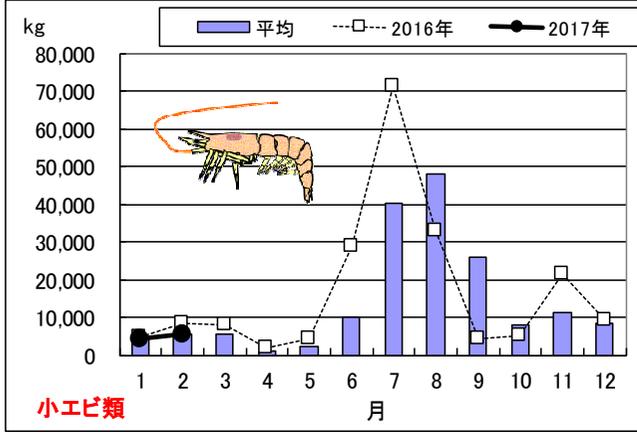
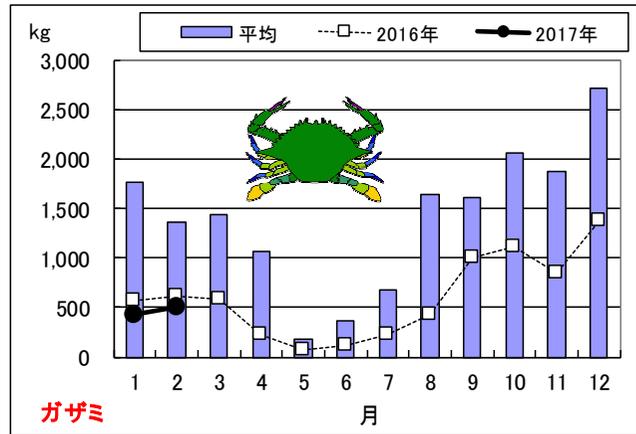
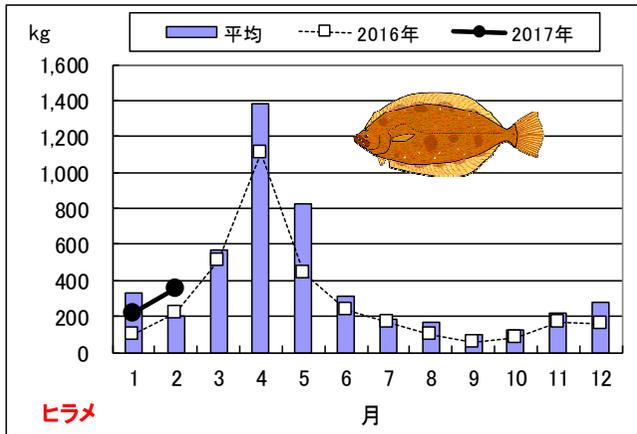
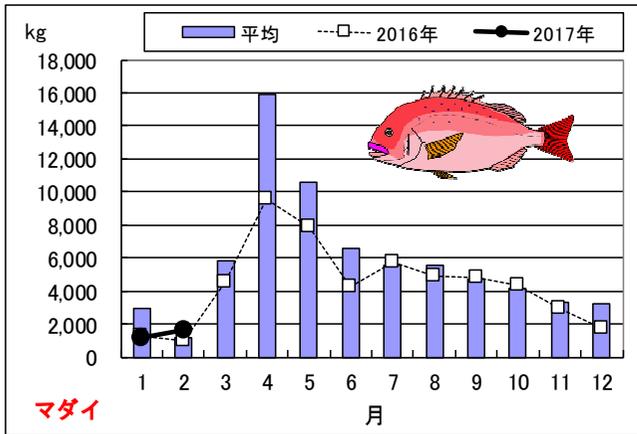
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2012年から2016年の5年間の平均。



燧灘（仁尾町+観音寺+伊吹） TACシステムデータより

平均値は、2012年から2016年の5年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

平均値は、2012年から2016年の5年間の平均。

